



基本計画の策定について

寒川町では、児童・生徒の減少によるクラス替えの困難さや教員数の減少への対応など、公共施設再編を機に時代にふさわしい教育環境の整備が求められていることから、学校の適正化等について検討を進め、「寒川町立小・中学校適正化等基本計画」を策定しました。

これまで、本通信（第1～3号）において検討内容についてお知らせしてきましたが、第4号では、基本計画に記載されている新しい学校の「かたち」づくりや再配置候補案等についてご紹介します。

基本計画の
詳細はこちら



内容説明動画
公開中！

新しい学校の「かたち」づくり

小中一貫教育

小・中間の環境変化によって不登校の増加などの課題が生じる「中1ギャップ」の解消や、小・中が共通の目標を持ってより系統的な教育ができるよう、義務教育9年間で一貫した教育課程の編成を目指します。

コミュニティ・スクール

保護者や地域住民が学校運営に参画することを通じて、学校の教育方針や教育活動に地域のニーズを的確に反映し、学校と地域が協働して取り組むことで、地域ならではの創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めます。

少人数教育

国の法改正により、令和7年度末まで段階的に、公立小学校の学級編成の上限が35人となることをうけ、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導と、安全・安心で多様な教育環境の整備に努めます。

※今後、中学校においても35人学級を導入する可能性があります。

2つの再配置候補案

※本通信の第3号で紹介したA～Dの4案から、2案に絞り込みました。

B案	寒川小学校	寒川中学校
	旭小学校	
	小谷小学校	旭が丘中学校
	南小学校	

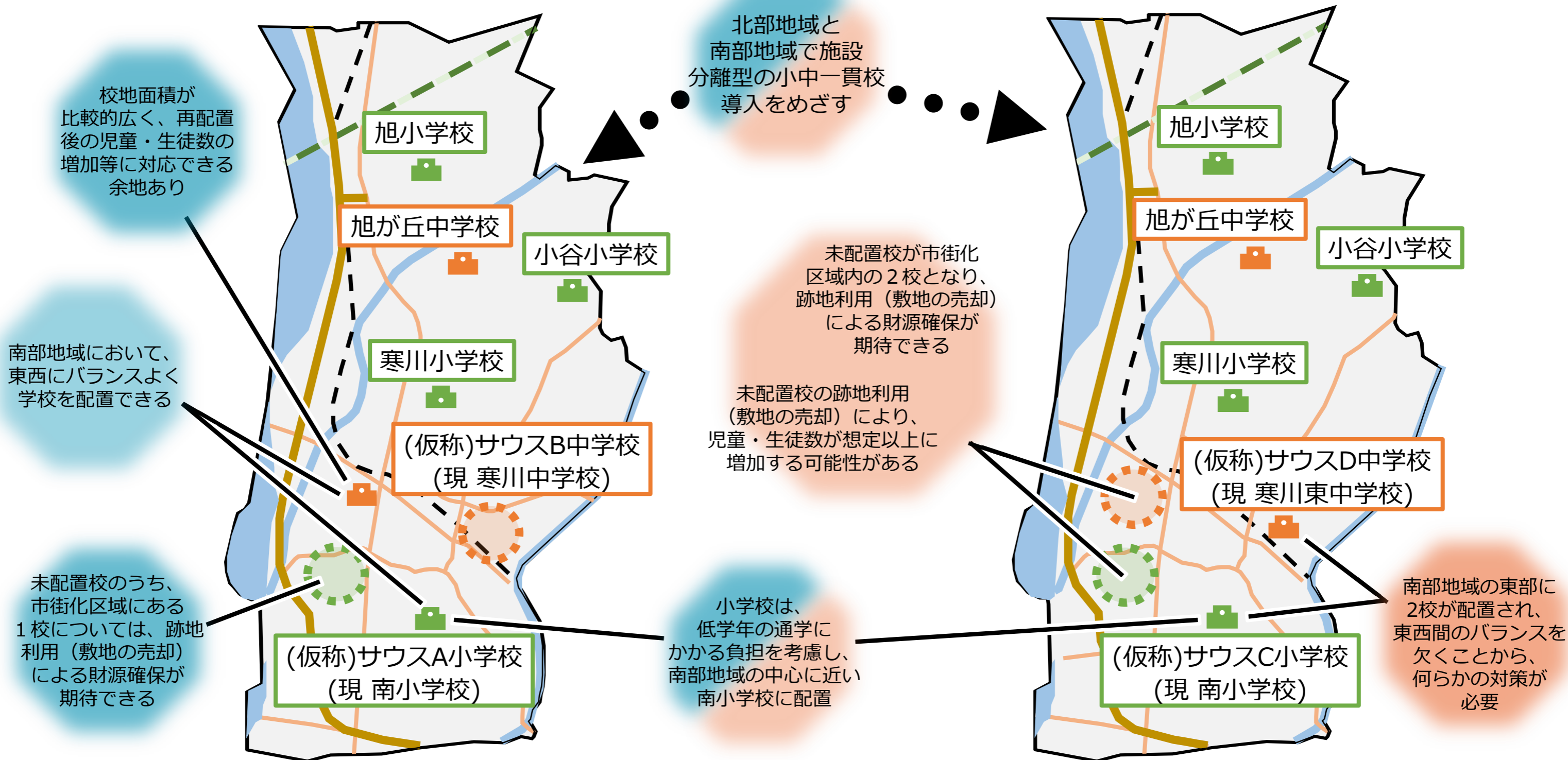
D案	寒川小学校	旭が丘中学校
	旭小学校	
	小谷小学校	寒川東中学校
	南小学校	

○一之宮小学校と南小学校を再編し、現在の南小学校へ配置

○一之宮小学校と南小学校を再編し、現在の南小学校へ配置

○寒川中学校と寒川東中学校を再編し、現在の寒川中学校へ配置

○寒川中学校と寒川東中学校を再編し、現在の寒川東中学校へ配置

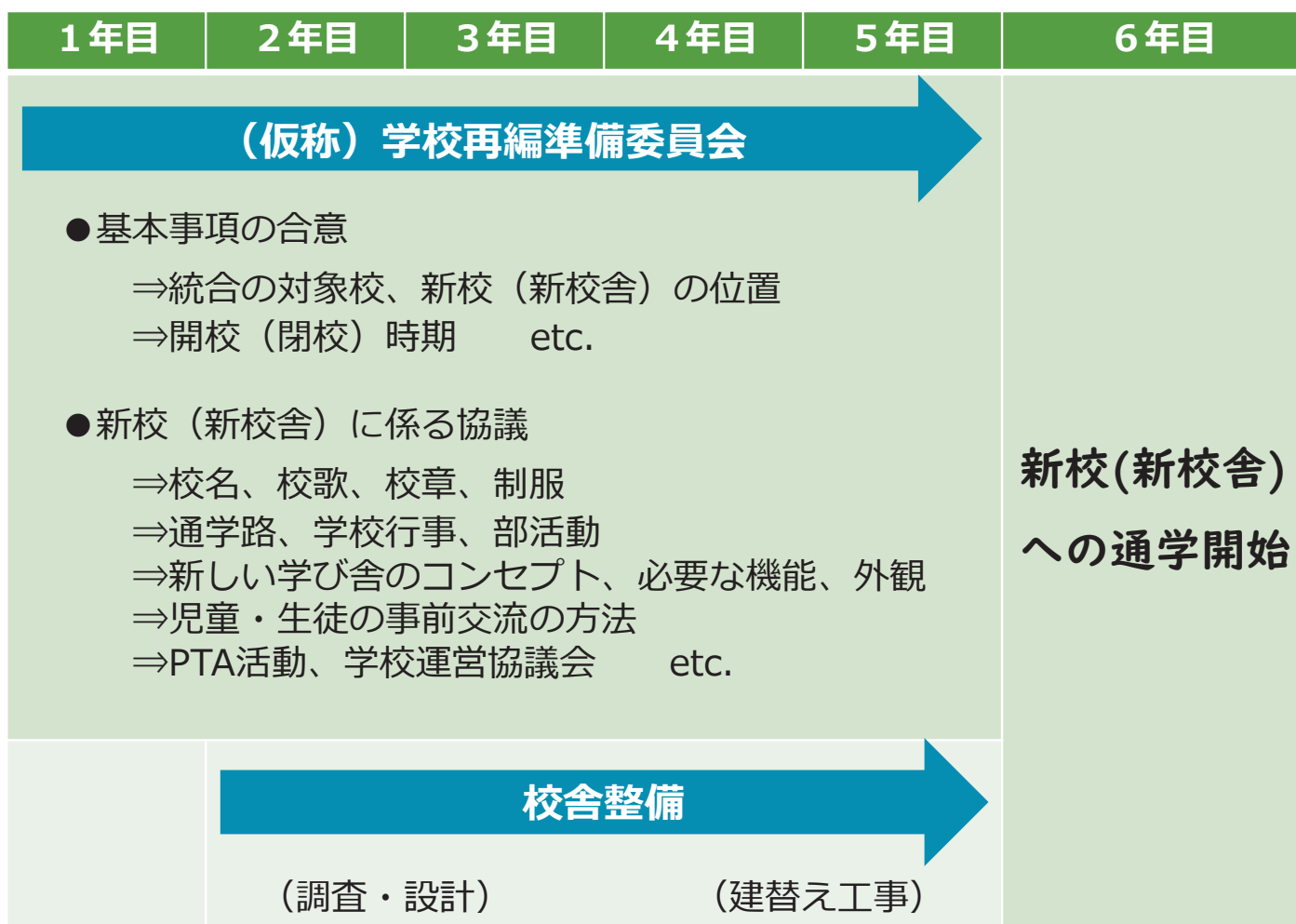


一之宮小・南小の再編は2035年までに、寒川中・寒川東中の再編は2040年までに実施する予定です。

再編後の学校名は、改めて検討した上で決定されていく予定です。

- ◆中面の2つの再配置案を現段階での最終配置候補案とします。
- ◆最終配置候補案の2案についても、それぞれ課題があることから、最終的にどちらの案を選択するにしても、その課題への対応が必要となります。
- ◆今後、町全体の公共施設再編計画の見直しに併せて、最新の人口推計や財政推計をもとに、最終的な再配置場所等が決定されていく予定です。
- ◆一之宮小・南小の再編は2035年までに、寒川中・寒川東中の再編は2040年までに実施する予定です。

新しい学校ができるまで



※学校再編の際の標準的なスケジュール例です。実際に取り組んでいく際には、公共施設再編計画や総合計画等と調整を図りながら柔軟に進めていきます。